

平成30年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
包括的支援事業 総合相談支援業務	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築、地域の高齢者の状況の実態把握【継続】	平成30年度においても継続実施(熱中症予防シートを活用した実態把握の実施)	<基幹型>主に、入院・入所等の方、関係課との連携対応が必要な場合の相談支援 <在支・包括>主に、在宅の方の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料8-2の2～5ページを参照 熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり <内容> ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。併せて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 <配布依頼先> 民生児童委員200枚、市民社会福祉協議会や在支・地域包括支援センターの生活支援コーディネーター2,156枚、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター140枚、計2,496枚 ※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 平成30年6月1日～9月30日 	
	介護サービス未利用者の定期的な実態把握【新規】	平成30年度中	<在支・包括>介護サービス未利用者の定期的な実態把握	資料8-3を参照	
権利擁護業務	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修の実施【継続】	年2回	<基幹型>障害者福祉課と共催で開催 <在支・包括>基幹型と連携して研修内容を検討	<p>高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待の基本的知識と対応を学ぶ」(講師 基幹型、在宅介護・地域包括支援センター社会福祉士 阿部伊多摩パブリック法律事務所弁護士)</p> <p>【訪問系サービス事業所】 平成30年9月18日(火)午後6時30分～午後8時30分 市役所811会議室、参加者47人</p> <p>【通所系サービス事業所】 平成30年10月16日(火)午後6時30分～午後8時30分 市役所811会議室、参加者38人</p>	
	市民に対する虐待防止に関する普及啓発の実施【継続】	平成30年度中	<基幹型>普及啓発方法の検討 <在支・包括>基幹型と連携して普及啓発を行う。	民生委員と在宅介護・地域包括支援センターとの懇談会で周知を図った。 6か所の在宅介護・地域包括支援センターと地域の民生委員の情報交換会時に「武蔵野市高齢者虐待対応マニュアル」を活用してミニ研修会を実施した。	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
	高齢者及び障害者虐待防止連絡会議（平成 24 年度から障害者福祉課と共管）の実施【継続】	年 2 回	<基幹型>障害者福祉課と共催で開催 <在支・包括>会議に出席	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポート MEW、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、健康課、高齢者支援課、障害者福祉課、子ども家庭支援センター、 第 1 回 平成 30 年 7 月 18 日（水） 市役所 111 会議室 第 2 回 平成 31 年 1 月 30 日（水） 市役所 812 会議室	
	見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会の実施【継続】（孤立防止に加え、消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化）	年 2 回	<基幹型>関係課と連携して開催 <在支・包括>会議に出席	【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、地域包括支援センター、健康福祉部各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター、都市整備部住宅対策課、市民部生活経済課 ・第 1 回：平成 30 年 7 月 4 日（水）午前 10 時～11 時 30 分 市役所 811 会議室 関係機関からの通報対応事例について、最近の安全対策についての取り組みについて、振り込み詐欺等の防犯対策について、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について、見守り支援についての武蔵野市の取組について ・第 2 回：平成 31 年 2 月 1 日（金）午前 10 時～11 時 30 分 市役所 811 会議室 関係機関からの通報対応事例について、武蔵野市地域包括支援センター、最近の安全対策についての取組について、振り込み詐欺等の防犯対策について、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について、見守り支援についての武蔵野市の取組について	
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメントの実施【継続】	平成 30 年度継続	<基幹型>・サービス担当者会議への出席等によりケアの質の担保を図る・武蔵野市独自様式の評価	ケアプラン作成件数等については、資料 8-2 の 9 ページを参照	
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアプラン指導研修の実施【継続】	年 6 回[個別ケース検討数：年 108 件]	<基幹型>研修委員会の運営 <在支・包括>委員として出席	第 1 回 平成 30 年 5 月 16 日（水） 事例数 19 第 2 回 平成 30 年 6 月 13 日（水） " 13 第 3 回 平成 30 年 7 月 4 日（水） " 16 第 4 回 平成 30 年 9 月 12 日（水） " 23 第 5 回 平成 30 年 10 月 16 日（火） " 16 第 6 回 平成 30 年 11 月 7 日（水） " 21 第 7 回 平成 31 年 2 月 25 日（月） " 5 合計 113 事例（ケアマネジャー107 人）	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				ケアプラン研修フォローアップ研修 目的：リ・アセスメント支援シートを活用したケアプラン作成の方法を学ぶ 日時：平成30年12月4日（火）午後6時30分～午後8時30分 場所：市役所811会議室 テーマ：「ケアマネジメントの質の向上研修」 講師：基幹型及び市内在宅介護・地域包括支援センター主任ケアマネジャー 参加者：31人	
	主任ケアマネジャー研修の実施【継続】	年1回	<基幹型>研修企画・開催 <在支・包括>研修に参加	主任介護支援専門員研修を開催 目的：居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員の役割として、以下のことを行えるようにする。 ①個別事例検討会のスーパーバイズ ②個別地域ケア会議への参画 ③エリア別地域ケア会議のファシリテーター 日時：平成30年7月18日（水）午後6時30分～午後9時00分 場所：市役所 811 会議室 テーマ：「グループスーパービジョンにおける事例検討」 講師：日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者：45人	
	地区別ケース検討会における事例検討の実施【継続】	年30回 （センターごとに年5回） [個別ケース検討件数：年30件]	<基幹型>地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括>地区別ケース検討会における事例検討のスーパーバイズを居宅介護支援事業所と連携して実施	ゆとりえ（東部第1） ①平成30年9月20日（木） 事例検討『認知症のSさん、在宅生活は無理？』 ②平成30年10月18日（木） 事例検討『過去にとらわれているうつのSさん どのように向き合うか』 ③平成30年12月20日（木） 事例検討『隣人との付き合いが、親切かお節か悩む』 ④平成31年2月21日（木） 事例検討『デイサービス利用が続かない利用者にとのように対応したら良いか』 吉祥寺本町（東部第2） ①平成30年6月20日（水） 事例検討『順調な人生に起きた予想外の出来事』 ②平成30年7月18日（水） 事例検討『ケアマネはどこまでやればいいのか？』 ③平成30年10月17日（水） 事例検討『ケアマネと関係者との意見が違う』 ④平成30年11月21日（水） 事例検討『うつを理由に、娘にあたる利用者の支援』 ⑤平成30年12月19日（水） 事例検討『突然、支援終了が決まった利用者にして最後の事とは』 ⑥平成31年1月16日（水） 事例検討『【もしバナゲーム】を使って人生の最終段階における意思決定支援について考える』 高齢者総合センター（中央第1） ①平成30年6月15日（金） 事例検討『94歳にして老後の心配をし始めた方へどのように支援していけば？』 ②平成30年7月20日（金） 事例検討『65歳到達により障害者福祉サービスから介護保険サービスへ移行された方をどう支えていくか』	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				<p>③平成30年10月12日(水) 事例検討『卵巣がんで、病状が変化する利用者への支援を考える』</p> <p>④平成30年11月16日(金) 事例検討『うつ病の妻と認知症の夫の高齢者世帯をどのように支援していけば?』</p> <p>⑤平成31年1月18日(金) 事例検討『本人は『在宅は無理』と言っているけど何が無理なの?』</p> <p>吉祥寺ナーシングホーム(中央第2)</p> <p>①平成30年6月14日(木) 事例検討『在宅が困難になってきた利用者と、在宅にこだわる妻にどのような支援が出来るか』</p> <p>②平成30年9月13日(木) 事例検討『本人と主介護者との意向に解離があるケースに対し、どのような在宅生活の支援をしていくか』</p> <p>③平成30年11月8日(水) 事例検討『障がい受容ができていないために生活意欲が低下しているケースに、どう支援をしていくか』</p> <p>④平成31年1月10日(木) 事例検討『関わりへの拒否が強く、清潔保持ができないケース』</p> <p>⑤平成31年2月14日(木) 事例検討『もっと支援を受け入れてほしいパーキンソン病の夫とその妻へのアプローチ』</p> <p>桜堤ケアハウス(西部第1)</p> <p>①平成30年6月19日(火) 事例検討『予後告知を受けていないターミナル患者の支援』</p> <p>②平成30年7月17日(火) 事例検討『高齢夫婦の在宅生活を続けるために必要な支援』</p> <p>③平成30年10月16日(火) 事例検討『精神疾患の、状態に波のある高齢者の対応』</p> <p>④平成30年11月20日(火) 事例検討『認知症の本人(母)と介護する息子の支援について』</p> <p>⑤平成30年12月18日(金) 事例検討『共依存傾向が強い家族の支援について』</p> <p>武蔵野赤十字(西部第2)</p> <p>①平成30年6月21日(木) 事例検討『家族がよい看取りをするために、ケアマネジャーができること』</p> <p>②平成30年7月19日(木) 事例検討『インフォーマルな関わりに、ケアマネジャーができること』</p> <p>③平成30年8月16日(木) 事例検討『40歳の利用者にケアマネジャーがどう関わられるか』</p> <p>④平成30年9月20日(木) 事例検討『65歳で脳梗塞を発症し、生活意欲が低下している70歳代の利用者のモチベーションをどのように保っていくか』</p> <p>⑤平成30年11月15日(木) 事例検討『本人は安心して生活できているの?~人形を離せないアルツハイマーの方の支援とは~』</p>	
地域ケア会議推進事業【制度改正による充実分】	個別地域ケア会議の開催【継続】	年18回(センターごとに年3回)[個別ケース検討件数:年12回]	<基幹型>開催方法の検討・整理 <在支・包括>会議開催	資料8-4を参照	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
在宅医療・介護連携推進事業	エリア別地域ケア会議の開催【継続】	年6回 (センターごとに年1回)	<基幹型>開催支援 <在支・包括>会議開催	資料8-4を参照	
	全市的域ケア会議の開催【継続】	年1回	<基幹型> 会議内容について関係課と調整等 <在支・包括> 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 合同研修会を開催 日 時：平成30年9月27日(木) 午後7時～8時45分 場 所：市役所811会議室 内 容：「薬に関すること」についてのグループワーク 参加者：各事業所連絡会より推薦された者 計78人	<ul style="list-style-type: none"> 医師会、歯科医師会、薬剤師会と担当する職種が毎年変わることによって多職種の連携を意識し、医療・介護連携のすそ野を広げることを目的とした。 連携推進のためには、定期的、継続的な開催が必要であるが、職種によって周知の工夫が必要である。
	「脳卒中地域連携パス」を多職種連携のツールとして活用する方策の検討【継続】	平成30年度継続	<基幹型>地域支援課と連携して方策を検討 <在支・包括>基幹型と連携して方策を検討	脳卒中地域連携パス運用実績 198件	
	在宅医療介護連携支援室と協働した医療介護連携の取組推進【継続】	平成30年度継続	<基幹型>在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 <在支・包括>医療介護連携に関する相談機能を強化	武蔵野市在宅医療介護連携支援室(平成27年7月に武蔵野市医師会内に開設)の活動実績(平成30年度実績) ・相談件数：201件 相談内容：在宅療養調整68件、入院入所調整16件、退院支援18件、転院支援13件、MCS29件、その他57件 相談元：ケアマネジャー69件、医療機関52件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター37件、通所系6件、訪問看護4件、施設系2件、訪問介護1件、その他30件 ・訪問件数：132件 訪問先：医療機関62件、ケアマネジャー10件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター22件、通所系3件、訪問看護10件、有料老人ホーム3件、老人保健施設0件、他区市連携支援室0件、その他22件 ・地域包括支援センター等と連携・調整し、相談に対応	
	入退院時支援・在宅医療介護連携の調整【継続】	平成30年度継続	<基幹型>医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 <在支・包括> 連携・相談の強化	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加 そこで「入院時の情報連携シート」と「入院時情報連携シート運用マニュアル」を作成し、施行された。	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
	摂食嚥下支援体制の整備【継続】	平成30年度継続	<基幹型>歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームによる摂食嚥下機能評価の実施：79人 通所介護を利用している3例で試行。本人、家族、歯科医師会、ケアマネジャー、通所介護事業所、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり、摂食嚥下の評価、支援計画作成及び実施を行った。 	
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを中心とした地域の自主的な取組の支援【継続】	平成30年度継続	<基幹型>第2層の後方支援 <在支・包括>「いきいきサロン」等の社会資源の立ち上げ支援やコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロンの参加者実人数（平成31年3月時点）：443人 いきいきサロンの登録団体数（平成31年3月時点）：20団体 生活支援コーディネーターの活動内容については、資料6を参照 	
	生活支援サービス整備に関する定期的な情報共有や連携強化等のための協議体の運営【継続】	平成30年度継続	<基幹型> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター連絡会議の開催 地域包括ケア推進協議会への報告 <在支・包括> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター連絡会議に出席 各地域での協議への参加 	資料6を参照	
認知症総合支援事業	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化【継続】	平成30年度中	<基幹型> <ul style="list-style-type: none"> 在支・包括の後方支援 武蔵野赤十字病院と連携した認知症初期集中支援チームの支援や杏林大学病院アウトリーチチームとの協働により、適切な医療・介護につなぐ。 <在支・包括>認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症コーディネーター会議 認知症コーディネーターによる会議を定期的に行い、認知症に関する地域づくりや支援体制の整備について議論を行う。年6回実施 認知症相談 認知症に関する相談に応じて適切な医療・介護につなげる。 認知症サポーター養成講座及び介護予防講座資料の作成 既存の認知症サポーター養成講座資料を汎用性の高いものに作り替え、講座の内容や質の均一化を図った。 認知症サポーターステップアップ講座 意欲ある認知症サポーターが、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えるために必要な具体的な知識やスキルを習得し、自主的な地域支援活動に取り組むきっかけをつくる講座を開催 地域認知症講座「ききたいことをきいてみよう！認知症」 コミュニティセンター単位で、認知症専門医から認知症に関する知識や対応方法を学ぶ講座を開催。平成30年度4回開催、平成28年度から延べ12回開催 	

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
	在宅医療・介護連携推進協議会認知症連携部会の運営【継続】	平成30年度継続	<基幹型>会議開催 <在支・包括>会議に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、認知症対応型通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員など、計21人で構成 ・認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年度内に3回の部会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ○1回目の部会では、認知症高齢者を支えるための医療と介護のチームによる連携の仕組みについての意見交換を行った。2、3回目では、BPSD（行動・心理症状）が見られる具体的な事例を紹介し「認知症初期集中支援事業」を活用しての成果と課題整理を行った。 ・第1回部会：平成30年8月7日開催 部会員17人出席 ・第2回部会：平成30年10月30日開催 部会員16人出席 ・第3回部会：平成31年1月31日開催 部会員18人出席 	各部会員から出された検討課題を整理し、連携を深めていくための具体的な仕組みづくりについて、引き続き検討を進める。
	もの忘れ相談シートの活用促進【継続】	平成30年度継続	<基幹型>シートの活用・周知等 <在支・包括>シートの積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ○もの忘れ相談シート活用件数：131件 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護・地域包括支援センターの相談：33件 ・認知症相談：63件、9月・3月休日相談会：35件 	
	認知症相談の実施【継続】	平成30年度中	<基幹型>相談会の開催 <在支・包括>相談会への同席	<ul style="list-style-type: none"> ・月3回、市役所又は在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施した（相談件数：72件） ・医師会と協働した認知症相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> 9月の「認知症を知る月間」で、医師会の医師（もの忘れ相談医）と認知症予防財団相談員による休日相談会を実施した（相談件数：医師30件、認知症予防財団相談員6件、総相談件数36件、重複あり）。 医師の相談には、認知症コーディネーターが同席し、相談内容に応じて介護サービスにつなげている。 ・3月10日に、もの忘れ相談医による休日相談会を実施した（予約制。相談件数：5件） 	相談に応じて適切な医療・介護サービスにつなぐ。
	認知症初期集中支援チームの運用【継続】	平成30年度継続	<基幹型>認知症初期集中支援チームの評価 <在支・包括>認知症初期集中支援チームの運用	<ul style="list-style-type: none"> ・実施件数：2件 <ul style="list-style-type: none"> 本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり、認知症の方々の課題解決のための取組をした。 	
	認知症に関する普及・啓発【継続】	平成30年度継続	<基幹型>普及啓発方法の検討 <在支・包括>基幹型と連携して普及啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 講座開催回数：58回（うち定例開催回数：7回） 延べ受講者数：1,810人 平成30年度は、土曜や夜の開催、子育て支援団体（1団体）に対しても実施した。 ・認知症サポーターステップアップ講座の実施（連続講座） <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、5連続講座を1回開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回（講義） 40人 第2回（DVD鑑賞とグループワーク） 30人 第3回（2グループに分かれて施設見学） 17人 第4回（認知症の方への声かけ講座） 29人 第5回（グループワーク）「地域で何が出来るか考えてみよう」 28人 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても安心して生活できる地域づくりを推進するために、一般市民や企業、各種団体等に対して実施していくほか、土曜・夜などの開催により受講機会の拡大を図っていく。 ・認知症の理解者から支援者としての活躍に向け、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。年間を通じた連続講座として実施し、具体的な地域

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
				<ul style="list-style-type: none"> ・地域認知症講座の実施 平成30年度は、4回開催 テーマ：「聞きたいことを聞いてみよう！認知症」 講師：繁田雅弘氏（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授） 日時、場所、参加人数：開催時間は、全て1時間30分 平成30年6月1日（金）本宿コミュニティセンター 33人 平成30年10月27日（土）緑町コミュニティセンター 98人 平成30年10月30日（火）吉祥寺東コミュニティセンター 26人 平成31年2月1日（金）西部コミュニティセンター 32人 	<p>活動へつなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の普及啓発を図るため、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。認知症専門医の協力を得て、地域性に基づいた講座開催場所を検討し、実施していく。
指定介護予防支援	介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関と連絡調整【継続】	平成30年度継続	<p><基幹型>指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 <在支・包括>指定介護予防支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアマネジメント（事業対象者）及び介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議には全件参加 ・ケアマネジャーによる自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、平成30年7月から毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施し、284件の検討を行った。 	
一般介護予防事業	介護予防普及啓発事業【継続】	平成30年度継続	<p><基幹型>普及啓発事業の検討 <在支・包括>基幹型と連携して普及・啓発を行う。</p>	資料8-2の14ページを参照	